

# 誰もが自分らしく暮らせる 明日をめざして 考えてみませんか？ 生きづらさの正体

思わぬ場面で「えっ？」と違和感を持ったことはありませんか。  
「なんとなくモヤッとする」「息苦しいなあ」と感じたら、それはジェンダー（社会的・文化的な性別）に基づく偏見のせいかもしれません。どうしたら偏見をなくせるか考えてみませんか。

男女平等参画課 ☎ (528) 6801

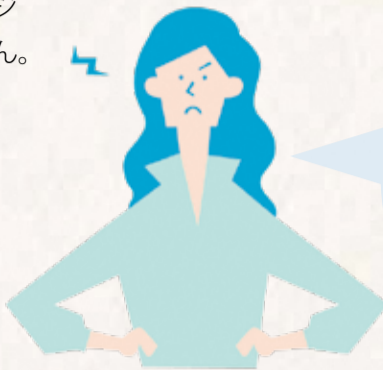
## 仕事忙しいけど、 育休取りたいなあ

次世代を担う子どもを育てるのは、お母さんだけの役割ではありません。子どもとの貴重な時間を共有したいお父さんだってたくさんいます。お父さんとお母さんがともに子育てをすることができるよう、社会全体でサポートしましょう。



## ハイヒール履きたく ないんですけど

足を美しく見せるというハイヒールですが、人によっては足が痛くて苦痛と感じています。最近では、セクハラを撲滅するための#MeToo運動をもじった#KuToo(靴・苦痛)運動が話題になりました。履く人の意思を尊重しましょう。



## ズボンの制服を はきたいなあ

「普段はずっとズボンで過ごしてきたので、会社の制服のスカートをはくと落ち着かないし、活動しづらい」と感じたことはありませんか。服装はその人らしさを表すものでもあり、機能性も大切です。最近は制服でもスカートとズボンを選べるような柔軟な環境が整いつつあります。



## 男の子は 泣いちゃダメなの？

「男のくせに」「男なんだから」と、昔からの価値観にこだわっていませんか。他人の悲しみや苦しさに心を寄せたり、つらい思いをしたときに思わずこぼした涙は自然なものです。昔ながらの男女の役割分担意識をなくすことは自分らしく暮らす第一歩です。



## 家事・育児、 ちっとも 得意じゃないけど……

家事も育児もそれぞれの家庭のスタイルがあります。正解があるわけではありません。目の前の家族としっかり向き合って自分たちに合った暮らしをみつけましょう。



## あなたは大丈夫？

### セクシュアルハラスメントチェック！

いつもの何気ない言動の中に、ハラスメントが潜んでいるかもしれません。「相手が嫌な顔をしないから」「以前からよく使っている言葉だから」ということで大丈夫と思っても、相手を傷つけたり不愉快な思いをさせたりしているかもしれません。もう一度チェックしてみましょう。

#### これらはみんなセクハラです

- 体をジロジロ見たり、不必要に接触する。
- 食事やデートにしつこく誘う。
- 交際や誘いを断ると、急に仕事の上で嫌がらせをする。
- 「結婚はまだか」「子どもはまだか」と尋ねる。
- スリーサイズなど身体的特徴を話題にする。
- 「男のくせに根性がない」「女性は職場の花でいい」などと発言する。
- 女性だけに職場のお茶くみ、掃除、私用等を強要する。

不愉快な思いやつらい思いをしたときはご相談ください。

- 東京ウィメンズプラザ ☎03 (5467) 2455… 電話相談。午前9時～午後9時（年末年始を除く）
- 女性総合センター ☎ (528) 6801… カウンセリング相談（予約制）。火曜・水曜・土曜日、午後1時～5時（土曜日は電話相談のみ）

## 男女平等参画苦情処理制度を ご存じですか

立川市男女平等参画基本条例では、市の施策が男女平等参画の促進に影響を及ぼす場合等に、男女平等参画苦情処理委員に苦情の申し出をすることができます。苦情の申し出があった場合、市長から任命された苦情処理委員が必要な調査を行い、必要に応じて市長に対して是正その他の措置をとるよう勧告します。

- 苦情処理委員 ▶ 深尾凱子さん（ジャーナリスト）▶ 須崎伸子さん（人権擁護委員）▶ 吉田衣里さん（弁護士）〔任期は令和4年3月31日まで〕
- 申出書の提出方法 住所、氏名、電話番号、申し出年月日、具体的な内容を書いて、直接、または郵送で男女平等参画課〔〒190-0012曙町2-36-2女性総合センター5階〕へ。申出書は同課で配布しています（市ホームページからダウンロードも可）。

男女平等参画課 ☎ (528) 6801

昨年発生した台風第19号により通行止めとなっていた日野橋は、5月12日（火）午前10時に通行止めを解除します。男女平等参画課 ☎ (528) 6801